

次世代省エネ基準チェックシート  
(熱橋部分と一般部を分けて試算する場合)

鎌倉U邸計画

躯体の断熱性能等

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W
屋外側熱伝達抵抗 天井断熱の場合	-	-	0.090
55 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種	75.0	0.028	2.679
35 住宅用グラスウール 16K	100.0	0.045	2.222
26 石膏ボード	9.5	0.220	0.043
	-	-	0.090
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		5.124
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.195
			0.860

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗	基準値
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W	0.240
屋外側熱伝達抵抗 天井断熱の場合	-	-	0.090	平均
				熱貫流率
				0.239
				W/m2K
18 天然木材1種 檜、杉、えぞ松、とど松等	89.0	0.120	0.742	適合
35 住宅用グラスウール 16K	45.0	0.045	1.000	
26 石膏ボード	9.5	0.220	0.043	
	-	-	0.090	
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		1.965	
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.509	
				0.140

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W
屋外側熱伝達抵抗 外気に面する場合	-	-	0.040
75 サ-モ-ライ t=4	4.0	0.210	0.019
38 高性能グラスウール 16K	100.0	0.038	2.632
26 石膏ボード	12.5	0.220	0.057
	-	-	0.110
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		2.857
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.350
			0.830

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗	基準値
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W	0.530
屋外側熱伝達抵抗 外気に面する場合	-	-	0.040	平均
				熱貫流率
				0.448
				W/m2K
75 サ-モ-ライ t=4		0.210	0.000	適合
18 天然木材1種 檜、杉、えぞ松、とど松等	105.0	0.120	0.875	
26 石膏ボード	12.5	0.220	0.057	
	-	-	0.110	
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		1.082	
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.924	
				0.170

外気に接する床

計画になし

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W
	-	-	0.150
55 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種	55.0	0.028	1.964
21 合板	24.0	0.160	0.150
20 天然木材3種 ナラ、サクラ、ブナ等	15.0	0.190	0.079
	-	-	0.150
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		2.493
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.401
			0.800

材料など	厚さ	熱伝導率	熱抵抗	基準値
	D mm	W/mK	Rc=D/ m2K/W	0.480
	-	-	0.150	平均
				熱貫流率
				0.477
				W/m2K
18 天然木材1種 檜、杉、えぞ松、とど松等	90.0	0.120	0.750	適合
21 合板	24.0	0.160	0.150	
20 天然木材3種 ナラ、サクラ、ブナ等	15.0	0.190	0.079	
	-	-	0.150	
熱貫流抵抗:R [m2K/W]	R = Rc		1.279	
熱貫流率:K [W/m2K]	K = 1 / R		0.782	
				0.200

開口部の仕様

窓	建具の仕様
	一重窓(ガラス中央部の熱貫流率4.0W/m2K以下) 仕様: 複層ガラス(空気層6mm)

引戸・框ドア・ドア	建具の仕様	仕様を 選択
	金属製扉(熱遮断構造パネル)	

コメント欄

計画プランの特性から外壁の平均熱貫流率は基準値の1割以上増しで考え、プラン変更による性能ダウンが生じ難いようにした。  
(屋根又は天井・床については性能に及ぼす要因はほとんど考えられない。)  
(外壁については使い勝手等施主の要望により想定仕様と異なる場合が多い。)